

炎症

滲出性炎

漿液性炎

カタル性炎 - アレルギー性鼻炎

線維索性炎 - 偽膜性大腸炎 / 線維索性心外膜炎

化膿性炎 - 気管支肺炎

1.膿瘍

2.蜂巣(織)炎[蜂窩織炎] - ひょう疽

3.蓄膿 - 慢性化膿性副鼻腔炎、膿胸(腹腔)

出血性炎 - 出血性敗血症 / インフルエンザ肺炎 / 出血性膀胱炎

壊疽性炎(壊疽) - 肺壊疽 / 壊疽性虫垂炎 / 壊疽性胆嚢炎

増殖性炎 - 間質性肺炎・肝硬変

特異性炎(肉芽腫性炎)

結核 乾酪壊死、ラングハンス型巨細胞

梅毒 スピロペータである梅毒トリポネーマの感染によって起こる慢性特異炎症性疾患、ゴム腫

ハンセン病 らい菌によって起こる感染症、らい腫とよばれる肉芽腫が形成される

サルコイドーシス

アレルギーの5型

I型(アナフィラキシー型反応)

抗原、肥満細胞、IgE、ヒスタミン、ロイコトリエン、アナフィラキシーショック

気管支喘息 / 花粉症 / 蕁麻疹 / アレルギー性鼻炎 / 食物アレルギー

II型(細胞障害型反応)

免疫グロブリンのIgEあるいはIgM抗体が結合して細胞の障害がおこる。

異型輸血 / Rh血液型不適合の場合の胎児赤芽球症 / 突発性血小板減少性紫斑病 /

自己免疫性溶血性貧血

III型(免疫複合体型反応)

血中で抗原と抗体が反応して抗原抗体複合体(免疫複合体)ができ、

急所に急性の炎症や組織障害を引き起こす。

血清病 / IgA腎症 / アルサス(Arthus)現象 / 膠原病 / 免疫複合体病

IV型(遅延型反応)

抗原により感作されたTリンパ球により起こる反応で、細胞性免疫反応ともよばれる。

ツベルクリン反応 / 移植片対宿主病(GVHD) / 金属アレルギー

V型(刺激型反応)

本来レセプターに結合すべき物質と同様に抗体がレセプターに結合し、

その細胞を刺激、機能を亢進する現象

バセドウ病(グレープス病)

腫瘍マーカー

CEA 癌胎児性抗原 - 消化管、肝臓、膵臓

AFP α- フェトプロテイン - 肝臓 (肝細胞癌)

CA19-9 - 膵癌、胆嚢・胆管癌

PSA - 前立腺肥大症 / 前立腺癌

hCG ヒト絨毛性ゴナドトロピン - 絨毛癌

癌の内因

1. **遺伝性素因** 神経線維腫症 (フォン) レックリングハウゼン病、(von)Recklinghausen disease、
家族性大腸ポリポーシス
2. **ホルモン** ホルモン依存腫瘍 前立腺癌、乳癌、子宮内膜癌、卵巣癌
3. **免疫** エイズ、カポジ肉腫、悪性リンパ種
4. **栄養**
5. **がん制御遺伝子** Rb, p53, BRCA1

癌の外因

1. **放射線** 甲状腺癌、乳癌、胃癌、肺癌
2. **科学物質**
アスベスト → 悪性中皮腫
アニリン色素 → 膀胱癌
3. **ウイルス**
エプスタイン・バーウイルス (EBV) → バーキット腫瘍・鼻咽頭癌
ヒトパピローマウイルス (HPV) → 子宮頸癌、陰茎癌、乳頭腫
ヒト T 細胞白血病ウイルス (HTLV-1) → 成人 T 細胞白血病 (ATL)
B 型肝炎ウイルス (HBV)、C 型開園ウイルス (HCV) 肺炎→肝硬変→**肝癌**
ヘリコバクター・ピロリ (細菌) → **胃癌**

先天性異常

・単因子か多因子

2 型糖尿病、高血圧、統合失調症、躁うつ病 (双極性障害) などが**多因子**。

遺伝子形式

伴性劣性遺伝子病 (X 染色体関連劣性遺伝を示す疾患) 性差：ほぼ男性

血友病、緑赤色盲、デュシェンヌ型筋ジストロフィー、伴性無ガンマグロブリン血症

常染色体優性遺伝 性差：なし

対立遺伝子の 1 つに優性な異常遺伝子があれば発症するもの

マルファン症候群 クモ指症、

(フォン) レックリングハウゼン病 カフェオレ班

結節性硬化症

家族性大腸ポリポーシス

常染色体劣性遺伝 性差：なし

両親が異常遺伝子を持つ場合におきる、大部分は血族結婚による先天性代謝異常
脂質蓄膿症、糖原病、ウィルソン病、重症複合型免疫不全症

男性：動脈硬化、高血圧、心筋梗塞、脳梗塞、胃癌、肺癌、食道癌、肝癌、血友病、緑赤色盲
女性：甲状腺癌、胆嚢癌、胆石症、鉄欠乏性貧血、骨粗鬆症

外因

1. 栄養障害 - メタボリック症候群

2. ビタミン

ビタミン A 欠乏 - 夜盲症、眼球乾燥症、皮膚角化症

ビタミン B1(チアミン) 欠乏 - 脚気

ナイアシン(ニコチン酸) 欠乏 - ペラグラ

ビタミン B12 欠乏 - 悪性貧血

ビタミン C 欠乏 - 壊血病

ビタミン D 欠乏 - くる病、骨軟化症

ビタミン K 欠乏 - プロトロンビン血症、腸管出血(新生児メレナ)、脳出血

3. 鉱物(ミネラル)

カルシウム - テタニー

銅代謝異常 - ウィルソン病

4. 水 - 脱水、水中毒

5. 放射線

高感受性細胞：骨髄の造血細胞、精子となる精粗細胞、卵子となる卵母細胞、
腸の上皮細胞、免疫を担うリンパ節細胞

低感受性細胞：筋細胞、神経細胞

6. 科学的要因

大気汚染：四日市喘息

石綿アスベスト：悪性中皮腫、肺癌、アスベスト肺

有機水銀：水俣病

カドニウム：イタイイタイ病

生物学的要因

細菌：結核菌、らい病、

リケッチア：ツツガムシ病

プリオン：クロイツフェルト・ヤコブ病、狂牛病

真菌(かび)：カンジダ、アスペルギルス、クリプトコッカス、
ニューモシスチス・カリニ→ニューモシスチス肺炎

自己免疫疾患

SLE 全身性エリテマトーデス(紅斑性狼瘡)：若い女性に多い

RA 関節リウマチ：女性に多く、30～40歳代を初発とする

PSS 強皮症(全身性硬化症)：女性に多い

PM 多発性筋炎、DM 皮膚筋炎

MCTD 混合性結合組織病

PN 結節性多発性動脈炎

シューグレン症候群：女性に多い 40～60歳に多い

橋本甲状腺炎(橋本病)：中年以降の女性に多い

性染色体異常の疾患

ターナー症候群 女性：45XO

クラインフェルター症候群 男性：47XXY

奇形の原因

染色体の異常

遺伝的 単一遺伝性や多因子遺伝性などの遺伝子の異常のもの

催奇形因子の影響 胎内で胎児が感染や薬剤の影響を受けるもの

病原性微生物感染

風疹ウイルス 先天性風疹症候群 - 難聴

梅毒トレポネーマ

トキソプラズマ

サイトメガロウイルス

放射線 - 水頭症

薬剤や毒物

サリドマイド - アザラシ肢症

酸素欠乏

妊娠初期の母体のショック、出血、貧血

AIDS 後天性免疫不全症候群

原因

HIV (human immunodeficiency virus ヒト免疫不全ウイルス) の感染によって起こる。

感染するとヘルパー T 細胞 CD4+ を選択的に障害、細胞系免疫系の機構が破壊される。

感染経路

性的接触、母子感染、血液感染

合併症

日和見感染症 (ニューモチシスチス肺炎、真菌症、カリン肺炎)

悪性腫瘍 (カポジ肉腫、悪性リンパ種)

おまけ

・ P89 表 8-1 良性腫瘍と悪性腫瘍の違い を覚えること。

とりあえず時間がなければ悪性腫瘍の特性を覚えて、良性はその逆で良い。

・ P100 表 8-3 腫瘍の分類 をかならず、教科書をチェックすること。

覚え方は、良性腫瘍 x 上皮性を覚える。 乳頭腫、腺腫 の2つのみ。

それ以外は、

～腫となっていて、上記以外であれば、良性腫瘍 x 非上皮性

～癌であれば、悪性腫瘍 x 上皮性

～肉腫であれば、悪性腫瘍 x 非上皮性